

RONGO²とは？：茨城キリスト教大学文学部 文化交流学科の広報誌です。学生が中心となって年2回発行しています。

RONGO²

DEPARTMENT OF C-C STUDIES

vol.65
OCTOBER
2024

TOPICS

今年の文化発表1位は…？
新入生交流会

ジョン先生の情報を掘り起こします！
鄭敬珍先生インタビュー

気になる先輩たちのキャンパスライフ。
C科トラベラー

役立つ知識と注意点を知ろう。
「就活」を見よう

ロンゴロンゴ編集部



新入生交流会

今年も恒例の新入生交流会が5月18日（土）に開催されました！

午前の部：南米音楽のパフォーマンス

全国各地で活躍されている福田大治さん、岡田浩安さん、智詠（ちえい）さんによる南米音楽のパフォーマンスを披露していただきました！茨城大学でスペイン語講師もされている福田さんに南米の様子や概要を説明していただき、なかなか触れることのできない地球の裏側の音楽がチャペルに響きました。

ロンゴ編集部（堀内）がインタビューを行いました！

Q、パフォーマンスをするうえで大切にしていることは？

A. **福田**：音楽の背景には現地の人達の暮らしや歴史があり、それを垣間見ることができる作品もたくさんあるので、なるべく正確な情報にあたって、MCでしゃべるということに責任を感じないとダメなんです。会場の雰囲気に合わせて話す情報の量や内容に気を付けています。

智詠：南米、南米音楽について自分たちの演奏がファーストインプレッションになるので、それをきっかけに南米に興味を持ってもらうためにも正確な情報を伝えたいと思っています。自分の体験をもとに一緒に旅をしている気持ちになれるようにしています。

岡田：過去の教科書で表記されていた原住民の呼び名が現在は蔑称となっていたりするので、言葉選びには気を付けています。



Q、たくさんある音楽ジャンルの中でなぜ南米音楽を？

A. **福田**：通っていたギター教室にチャランゴ（南米の楽器。パフォーマンスの中で福田さんが弾いていた）があって、ひとめぼれしたのがきっかけです。

岡田：何か楽器をやりたいなと思っていた時に、「コンドルは飛んで行く」という曲を聴いて衝撃を受けたのがきっかけです。

智詠：両親が南米音楽の愛好家で、小さいころから両親の気を引くためにひき始めたことが始まりです。

午後の部：各国の文化発表

個性豊かな発表会！

スライドショーの発表に加えて、紹介する国の衣装を着てファッションショーを開催したチームや、クイズを取り入れた参加型のチーム、Vlog 風の動画で紹介するチーム、伝統的な食べ物や飲み物を提供したチームなど、どのチームもたくさん工夫が施されていて見応えがあり、非常に盛り上がっていました。

Participating Teams

岩間ゼミ A (中国)	中山ゼミ A (中国)
岩間ゼミ B (イタリア)	中山ゼミ B (ベトナム)
鄭ゼミ A (中国)	藤野ゼミ A (中国)
鄭ゼミ B (ベトナム)	藤野ゼミ B (インドネシア)



結果発表

1位は**中山ゼミB (ベトナム)**

チームのメンバーから感想を頂きました！

動画を通じて

ベトナムの文化や生活を身近に感じてもらえたこと、コーヒーを配ることでリラックスした雰囲気を作り出せたことに大きな満足感を感じました。

最初は自分の国

について何を話せばいいのか分かりませんでした。しかし、グループに分かれて意見を出し合い、テーマを選ぶことが簡単になりました。

vlog の動画を教授や

同級生が興味深く見てくださり、その表情を見たときは「このために準備してきたよかったです。」と強く思いました。

努力が実を結び、交流会が成功したのは皆さんの協力のおかげです。プレゼンテーションの準備から当日の運営まで、全員が一丸となって取り組んだ結果だと思います。

チームメイト 1人1人の意見を取り入れながら、互いに衝突しないように構成を考え、ワンマンプレーにならないように仕事を分担するという一見単純な工程が想像以上に難しく、準備期間の3週間は苦悩の日々でした。



鄭敬珍先生 インタビュー

今年新しく赴任されたジョン・キョンジン先生の情報を掘り起こします！

・名前

名前はジョン・キョンジンと言います。ジョンが苗字で、キョンジンというのが名前です。

・自己紹介

私は韓国の釜山という、南の方の出身で、大学は日本語や日本文化を専攻し、就職して10年間働き、その後、大学院に行きたいということで2012年に法政大学の大学院に入りました。

田中優子という、私の指導教員の本を読んで、この先生の元で研究をしたいなと思ひまして、田中ゼミに入りました。田中優子先生が、私が博士1年の時に法政大学の総長になったので、私が最後の弟子なんです。

—どれくらいで着くんですか？

飛行機だと40分、船でも3時間半くらい。だから、釜山という街自体、非常に日本人が多いです。そのおかげで日本語とかになじみがあり、自然と日本語を専攻しようかなと思ひました。

「置かれたところで 立派に咲いてほしい。」

・趣味、好きなこと

趣味は寝ることですね。なぜかという、めっちゃめっちゃ疲れているからなんです。寝る以外の時間は授業準備に費やして、今は美味しいものを食べたりするのが好きです。あと韓国ドラマを見る。忙しい合間にも韓国ドラマを見ようとしています。あと私は車にも自転車にも乗れないので歩いていくのが好きですね。

—キムチとかは？

私は辛いものも好きでキムチはいつも冷蔵庫の中に常備しています。金曜の授業が終わると、夜は大体、韓国料理を作って食べます。

・研究分野

私の研究分野は近世、主には18世紀が中心です。江戸時代の朝鮮時代の「文人」と

言われていた人たちの比較研究をしています。今はもうちょっと幅広く、東アジア全般の文人の研究にも興味があるし、最近韓国に行った時の論文はデジタル人文学というものです。今まで言葉で表現していたものをデータで入れることによって、パッと見てデジタル化された結果が出るようにするものですね。私の研究は文人の交流がどこまでつながっていて、どこが繋がっていないかを研究しています。

・韓国と日本の似ているところ

人が優しいとか、情があるとか、あとはルールを守るとか、そういうところはすごく似ています。

—どのようなことで実感しますか？

例えば困ったときに、聞いたりすると、本当に親切に助けてくれたり、自分のことを心配してくれたりと。同じだと思う瞬間はいっぱいあります。

—日本人学生は教室に入ったときに、みんな後ろの方に座っていますがどう思いますか？

日本の大学生は先生を見ても挨拶をしないですね。韓国人の学生は先生と目があったり、先生がいると思ったら、わざわざ体をそっち向きにして、あるいは「先生！」と呼んで「おはようございます！」と書いて。あとかなり深く挨拶をするんだよね。だから、私はこっちに来て、「あれ？なんでみんな挨拶しない？」とすごく思っ。日韓の大学生にアンケートを取った本を読んだら、やっぱり日本の大学生は、自分に

ジョン先生からお菓子を頂きました。おいしかったです！



って親近感がある人、親しい人には挨拶するけれども、「外」の人には挨拶をしない。だから、先生は「外」なんですよ。

__その先生のゼミに所属している人からみれば「内」なのかもしれない？

そう。授業をやった後は、うちのゼミ生は私を見つけたら、「おはようございます！」って挨拶ちゃんとするようになります。私も「してね」って言いました。していますね。

・大学時代はどんな学生だったか

私は全く真面目じゃなかったですね。日本語が好きだったので、日本語の授業は頑張ったけれども、そのほかの教養科目とか、あんまり興味ない科目には、そんなに熱心じゃなかったし、成績もよくなかったですね。でも、大学生時代の教授が、「皆さんは授業の中で日本語を専門としている者として、日本人と話したときに『あなた日本語上手ですね。』って言われたらアウトだから。」って言ったんですね。そして「自分から『私韓国人です。』と言わない限り分からないくらいまで目指しなさい」とも言っていました。それがすごく腑に落ちて、納得して。それまでは「日本語上手ですね。」って誉め言葉なんだけれども、それを言わせないようになりたいなと思いましたね。

__日本語ペラペラで、本当に韓国人かなって思っていました。

でも、いまだに難しいですよ。授業って「ライブ」じゃないですか。ポキャブラリーが出てこない瞬間って多々あるので、どう説明するかとか、瞬時頭の中で考えるとかをしています。

・韓国語の授業で大事にしていること

私は2コマ基礎授業をしているんですが、日本語にもともとない音なので出来なくてもダメとは言わないようにしています。私は基本的にすべての授業で学生が寝るのは許せないので、韓国語の授業でも最後の30分くらいは時間を取って、学生一人一人と練習します。一言でも韓国語を喋れたっていう実感があつたらいいなということを大事にしていきたいですね。

・茨キリ生のいいところ

やっぱりすごく学生がいい、あと居心地がいいってことです。ちゃんと真剣に聞いてくれる学生が多いと思います。中山先生とかにもちょっとたまにズルをする1年生とかいるんじゃないでしょうか。言ったら中山先生がうちの学生にはそんなせこいことをする人はいないって。素直に自分欠席、その場にいませんでしたって自己申告したりとかそういうところはずごくある意味かわいくなって思いました。

__素朴な疑問なんですけれど茨キリに来た理由って？

あ～茨キリに来た理由はですね、自分の研究分野、東アジアあるいは江戸時代とかをちゃんと教えられる場所があれば良いなとずっと思っていて。そんな時に研究者たちが見るサイトで茨キリの公募を見た時はほんとドンピシャだと思って。ここといえば私の博士論文を審査して下さった染谷先生がいらっしゃるのですごく尊敬してたけど、私には遠い存在でした。だからここに書類を出すっていうのも落ちたらって考えて言わなかったです。そしたら、運良く合格をしたんですよ。



__入って染谷先生は、、、？

面接全部終わってから染谷先生にメールをしたんですね。面接が無事終わりましたって。そう言ったら、先生は知らなかったようですね。

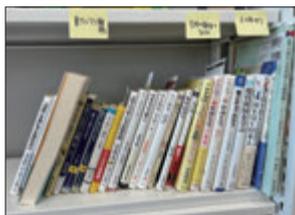
・これから挑戦してみたいこと

茨城は東京と違って地方都市じゃないですか。だから韓国の文化知りませんって人も結構いるのかなと思います。なので茨城の一般人向けに発信できる何かがあればいいなと思っています。今は全くそういう力はないんだけど、もうちょっとここに長くいるってなれば、まずは学内で雰囲気を作っていくって最終的には一般の茨城の人たちに紹介できたらなと思っています。

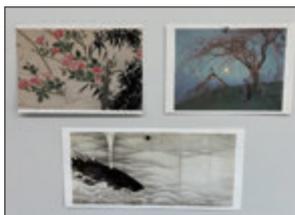
・学生の皆さんへメッセージ！

前回のロングロングにも書きましたけれども、「置かれたところで咲きなさい」という言葉が、私大好きで。学生の皆さんが茨キリに所属しているっていうのがなんらかの意味はあると思うんですよ。なので学生の皆さんも、たまたまとった授業だとか思わないで、全ての出会いを大切にしてください。あと、自分から挨拶をしましょう。先生たちもちゃんと挨拶してこないっていうのを意識しています。でも言わない。やっぱり先生たちも日本人なので、そこはあえて触れないのでしょうか。でも人間、何人でも同じです。置かれたところで立派に咲いて卒業してほしいなと思います。

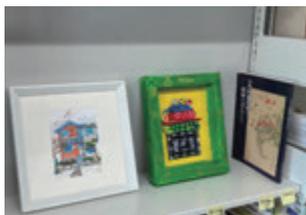
ジョン先生の研究室ギャラリー



↑研究室本棚の一部の書籍
韓国と日本の文化比較や問題、江戸期の書籍が見られました。



↑日本の絵師による絵画
左上：長沢芦雪「花鳥蟲獸図巻」 右上：吉田博「雲井樓」
下：伊藤若冲「像と鯨屏風図」



C科トラベラー

ロンゴロンゴ初企画！文学部の中でも学問の幅が広い「C科」の先輩って何をしているのだろう？在学生・卒業生にメールインタビューをして、周りの人や先輩がどんなことをしているのか見てみよう！貴重な4年間のキャンパスライフの一助になれば嬉しいです。

～寺門祐奈～（卒業生・日本語学校勤務）

Q. 学外で力を入れたことは何ですか？

A. 学外で特に力を入れていたことは、地域のボランティア日本語教室へ参加して外国人の日本語の学習をサポートしたり、外国人と簡単な日本語で会話をしたりするなど、多くの外国人と交流したことです。

Q. 1日のスケジュールを知りたいです。

A. 午前7時 起きる

午前8時 家を出る

午前8時半～12時 教室作成やその他の業務

午後1時半～午後4時45分 午後クラスの日本語授業

午後4時45分～午後5時半 授業後処理

午後6時 帰宅



Q. 後輩へのメッセージをお願いします！

A. 私は大学に入学した年がちょうどコロナぶち当たり世代でしたので、大学時代と呼べる時間が3年程度しかないと思います。みなさんは数年後、「4年間毎日大学へ行けることがとても幸せだった」ということに働き始めてやっと気づきます。4年間という短いような長いようなかけがえのない時間を大切にしてください。

～照沼朋香～（4年生・韓国留学）

Q. 学内外で力を入れたことは何ですか？

A. 学内では教職課程を履修し、学外ではアルバイトや留学準備（資格関連）にも力を入れていました。

Q. 海外留学を経て、身についた力や能力。あるいは海外でしか学べなかったことはなんですか？

A. 語学力の向上はもちろん、留学を通して自分の視野を大きく広げることができました。

近い国での留学ではありましたが、多国籍の留学生たちとの交流を通じて、多様な価値観に触れることができました。また、日本を外から見ることで新たな気づきもあり、様々な方向から物事を考えられるようになりました。

Q. 後輩へのメッセージをお願いします！

A. 海外で年間生活することは学生である今こそ簡単に挑戦できることだと思います。挑戦して後悔することは無いと思うので、興味のある人は一度国際交流課に行ってみてください。また、留学だけでなく、自分の関心を他の人にも話すことで思いがけずチャンスが来ることもあるので、自分の思いを外に出していくことも重要だと思います。

～佐川仁美～（4年生）

Q. 学内外で力を入れたことは何ですか？

A. 学内ではとやまのユネスコ無形文化遺産調査の補助員として祭の調査・研究を、学外ではミュージカル劇団での活動に力を入れました。

Q. 劇団の活動について教えてください！

A. 本公演や、イベントでのパフォーマンスに向けて小学生から社会人までの仲間と共に練習に励んでいます。去年の本公演は初めて主演を頂けたのでフレッシュもありましたがお客様に感動を届けるため仲間と支えあいながら練習に励みました。舞台から見えるお客様の笑顔やお声がやいけいです！

Q. 見学してきた祭で印象に残っていることはどんなものですか？

A. 祭それぞれによって当たり前が異なることです。祭の景色や人、担い手不足の対策方法や行政、祭に対する思いや考え方など様々な点で違いがありました。しかし、祭を誇る気持ちは同じであり地域の人々の祭にかけるプライドに感動しています。

Q. 後輩へのメッセージをお願いします！

A. 社会人になってしまう前の最後の期間です！人生は一度きり！当たり前のことって意外と無いので今しか出来ないことに何でも挑戦し様々なことを経験して行ってください。楽しいキャンパスライフを～！



～鴨志田みあい～（3年生）

Q. 学内で力を入れたことはなんですか？

A. 私は鈴木先生の依頼でアルバイトとして、インド仏教徒の指導者・佐々井秀嶺さんの手記のデジタル入力作業をしています。手記を読みあげている音声を聴いて、それをワードに打ち込むという作業です。

Q. お坊さんの手記をデジタル入力するとのことですが、なぜ、これをしようと思ったのですか？

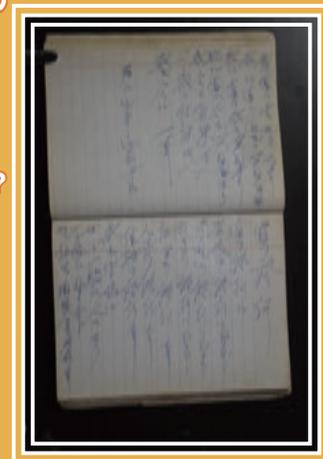
A. 友達に推薦されたことがキッカケです。はじめから興味があった訳ではなかったのですが、お話をいただいたからには挑戦してみようと思いました。周りの友達も誘い、現在は私を含めた文化交流学科の3年生3人で活動しています。

Q. デジタル入力の楽しさや魅力などがあれば教えてください！

A. 私は元々黙々と作業をすることが好きだったので、淡々と文字を打ち込んでいくこの活動は自分の性に合っていてとても楽しいです。活動を始めてからタイピングの速度が以前より早くなったような気がします。また、手記には仏教用語が多く登場するため、言葉の知識が増えて良い勉強にもなっています。

Q. 後輩へのメッセージをお願いします！

A. 大学生には沢山時間がありますから、少しでも興味が湧いたことがあったら勇気を出してチャレンジしてほしいと思います。自分の得意なことや好きなものに出会えるかもしれません。



「就活」を見よう！

きっと1番スルーされがちなこのページ。確かに大学院に行く人はスルーでもいいかも。歴代のロンゴロンゴでは、先輩たちのありがたいお言葉や就活のアドバイスを載せていました。でも、「就活」の文字を見た途端、2年生は、「まだ、関係無いからいいや。」、3年は「やめて、聞きたくない。」、4年は「すでに終わった。」と声が聞こえてきそう。ここでは、3つに分けて就活の注意点や必要最低限の知識をあげておこう。知っていることで遠回り・空回りをしなくていいかも。

自分が気になるものの二次元コードを
読み取ってください。

(二次元コードの有効期限→2026年3月末)



1、2年生向け



3年生向け



4年生、
就活終了組向け

～大学2年生向け～

「なぜ、インターシップに行くの？」
「就活では何が一番重視されるの？」など

～大学3年生向け～

「先輩はいつ頃就活を終わらせているの？」
「何もしてないけど何かしたほうがいい？」など

～大学4年生向け～

「え、まだ気にしなきゃいけないことあるの？」



ロンゴロンゴ編集部は新入部員募集中！

デザインや雑誌編集、取材活動に興味のある方は
もちろん初心者も大歓迎です！
わたしたちと心に残るような記事を作りませんか？

ロンゴロンゴってなに？

ロンゴロンゴは文化交流学科が年2回ペースで発行している
オフィシャル広報誌！文化交流学科にまつわる様々な情報を
発信しています。取材から編集、発行まで学生が手掛けています。